



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日
東

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第1四半期 | 4,604 | 32.8 | 235 | 33.4 | 233 | 15.7 | 125 | 6.9 |
| 25年12月期第1四半期 | 3,465 | 16.2 | 176 | △19.5 | 201 | △18.7 | 117 | △20.8 |

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 70百万円(△76.0%) 25年12月期第1四半期 295百万円(△1.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 23.44 | — |
| 25年12月期第1四半期 | 22.28 | 22.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|--------------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第1四半期 | 8,944 | 73.0 | 6,589 | 73.0 | 6,589 | 73.0 |
| 25年12月期 | 8,980 | 73.1 | 6,625 | 73.1 | 6,625 | 73.1 |

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 6,525百万円 25年12月期 6,565百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | — | 12.50 | — | 20.00 | 32.50 |
| 26年12月期 | — | — | — | — | — |
| 26年12月期(予想) | — | 12.50 | — | 20.00 | 32.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,000 | 20.0 | 600 | 27.6 | 600 | 17.6 | 400 | 29.9 | 74.79 |
| 通期 | 18,500 | 10.1 | 1,300 | 13.8 | 1,300 | 7.9 | 850 | 16.5 | 158.92 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年12月期1Q | 5,349,000株 | 25年12月期 | 5,349,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年12月期1Q | 405株 | 25年12月期 | 405株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年12月期1Q | 5,348,595株 | 25年12月期1Q | 5,263,379株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げ前の駆け込み需要や、好調な企業業績を背景に回復傾向が一段と顕著となりました。一方、海外においては、米国における堅調な成長、欧州の債務危機沈静化による景気持ち直しにより、中国景気の不透明感などはあるもののおおむね景気は回復傾向を示しております。

このような状況の下、当社グループは、新たに策定した2014～2016年度中期経営計画の方針に基づき、国際総合フレイトフォワードナーに向けて努力を傾注しております。

売上高は、対前年同四半期に比べ、単体において輸入、航空輸送などの新規分野を中心に順調に増加しており、単体の売上増加率は5.1%となりました。その内訳は、輸出輸送売上が4.7%増、輸入輸送売上が12.8%増となり、また、主力の輸出混載輸送においても一時の低迷を脱し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

一方、グループ会社においてはフライングフィッシュ株式会社の通期寄与による増加等を含め、国内グループ会社、海外現地法人いずれも売上高は計画を上回って推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,604百万円（前年同四半期比32.8%増）、営業利益は235百万円（同33.4%増）、経常利益は233百万円（同15.7%増）、四半期純利益は125百万円（同6.9%増）と、売上高、利益とも前年同四半期を上回りました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第1四半期連結累計期間における売上高は、フライングフィッシュ株式会社の通期寄与、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン及びグローバルマリタイム株式会社両社の大幅増収もあって前年同四半期を大きく上回り、また、セグメント利益においても同様に大幅に増加いたしました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、3,243百万円と、前年同四半期と比べ782百万円（31.8%増）の増収となり、また、セグメント利益（営業利益）は155百万円となり、前年同四半期と比べ55百万円増加（56.3%増）いたしました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に9つの現地法人を有しており、これらの現地法人での売上は日本からの貨物の取扱が中心となります。当第1四半期連結累計期間における海外売上は、新規得意先売上を中心にインド、タイ、米国などで大幅増となり、また、その他のすべての現地法人において前年同四半期比増収となりました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、1,361百万円と前年同四半期と比べ355百万円（35.4%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は97百万円と前年同四半期と比べ4百万円増加（4.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,944百万円（前連結会計年度末比35百万円減少）となりました。減少の主な理由は、のれんの償却進行による減少31百万円等であります。

負債は2,355百万円（同380千円増加）とほぼ前年同四半期と同額となりました。

また、純資産は6,589百万円（同36百万円減少）となりました。これは主に、利益剰余金の増加18百万円、為替換算調整勘定の減少56百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、消費税率引上げ後の反動によるわが国景気の落ち込みが予想されておりますが、当社事業への影響が大きい輸出に関しては、海外景気回復を背景に、今後も緩やかな持ち直しが続くと思われま

す。

このような事業環境の下、当社グループは下記項目を基本方針とする平成26年度から平成28年度の中期経営計画

を新たに策定しております。

中期経営計画（2014～2016年度）基本方針

- (1) 輸出入混載輸送を軸としながら、フォワーディングサービスの促進、既存事業と航空輸送、一貫輸送等の新規事業との連携により、国際総合フレイトフォワーダーとしての確固たる業績と地位を確立します。
- (2) 当社グループの総合力を活かしながら、海外事業の発展に重点を置き、利益における海外シェア50%をめざします。
- (3) 親会社による機能的な管理、支援体制により、グループ各社の特性と事業環境に適った支援を実施し、グループ全社の経営基盤を強化、確立します。
- (4) 当社グループの持続的発展のため、若手人材の中から、経営能力に富み、グローバル展開に資する優れた人材群を育成しその登用を図ります。

当社グループは、以上を基本方針として策定した各種戦略に基づき、諸施策を実行中であり、所期の成果を収めるべく全社員一丸となって取り組んでおります。

なお、当連結会計年度（平成26年12月期）の連結業績予想に関しましては、第2四半期（累計）及び通期とも、平成26年2月10日に公表いたしました予想値の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,752,970 | 3,571,299 |
| 売掛金 | 1,700,767 | 1,837,378 |
| 有価証券 | 280,000 | 280,000 |
| その他 | 405,502 | 448,860 |
| 貸倒引当金 | △1,285 | △1,353 |
| 流動資産合計 | 6,137,955 | 6,136,185 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 631,168 | 625,962 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,175,004 | 1,144,599 |
| その他 | 88,834 | 80,279 |
| 無形固定資産合計 | 1,263,839 | 1,224,879 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 977,524 | 986,606 |
| 貸倒引当金 | △30,189 | △29,200 |
| 投資その他の資産合計 | 947,334 | 957,406 |
| 固定資産合計 | 2,842,341 | 2,808,248 |
| 資産合計 | 8,980,297 | 8,944,434 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,196,641 | 1,089,170 |
| 短期借入金 | 255,645 | 336,260 |
| 未払法人税等 | 191,165 | 131,471 |
| 賞与引当金 | 6,584 | 86,643 |
| その他 | 376,045 | 372,735 |
| 流動負債合計 | 2,026,082 | 2,016,281 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 158,860 | 162,185 |
| その他 | 169,868 | 176,723 |
| 固定負債合計 | 328,728 | 338,909 |
| 負債合計 | 2,354,810 | 2,355,191 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 243,937 | 243,937 |
| 資本剰余金 | 233,937 | 233,937 |
| 利益剰余金 | 5,844,761 | 5,863,083 |
| 自己株式 | △377 | △377 |
| 株主資本合計 | 6,322,258 | 6,340,580 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38,516 | 36,359 |
| 為替換算調整勘定 | 204,641 | 148,583 |
| その他の包括利益累計額合計 | 243,158 | 184,942 |
| 少数株主持分 | 60,069 | 63,720 |
| 純資産合計 | 6,625,486 | 6,589,243 |
| 負債純資産合計 | 8,980,297 | 8,944,434 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

| | (単位：千円) | |
|-----------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
| 売上高 | 3,465,997 | 4,604,358 |
| 売上原価 | 2,452,322 | 3,362,499 |
| 売上総利益 | 1,013,675 | 1,241,858 |
| 販売費及び一般管理費 | 836,750 | 1,005,923 |
| 営業利益 | 176,924 | 235,935 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,448 | 7,151 |
| 為替差益 | 13,339 | — |
| 不動産賃貸料 | 5,520 | 3,639 |
| その他 | 2,319 | 3,200 |
| 営業外収益合計 | 29,627 | 13,991 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,465 | 8,119 |
| 不動産賃貸費用 | 1,199 | 1,209 |
| 為替差損 | — | 4,131 |
| 支払手数料 | 1,787 | 1,448 |
| その他 | 225 | 1,499 |
| 営業外費用合計 | 4,676 | 16,408 |
| 経常利益 | 201,875 | 233,518 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 130 |
| 投資有価証券売却益 | 3,210 | — |
| 特別利益合計 | 3,210 | 130 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 388 | — |
| 特別損失合計 | 388 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 204,697 | 233,648 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 95,734 | 118,540 |
| 法人税等調整額 | △11,290 | △14,608 |
| 法人税等合計 | 84,444 | 103,931 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 120,253 | 129,717 |
| 少数株主利益 | 2,993 | 4,371 |
| 四半期純利益 | 117,260 | 125,345 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

| | (単位：千円) | |
|-----------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 120,253 | 129,717 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,456 | △2,157 |
| 為替換算調整勘定 | 160,618 | △56,779 |
| その他の包括利益合計 | 175,075 | △58,936 |
| 四半期包括利益 | 295,329 | 70,780 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 284,737 | 67,129 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 10,591 | 3,651 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

連結決算日後の法人税等の税率の変更

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来37.9%から35.5%になります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,460,421 | 1,005,576 | 3,465,997 | — | 3,465,997 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 51,524 | 105,320 | 156,845 | △156,845 | — |
| 計 | 2,511,946 | 1,110,896 | 3,622,842 | △156,845 | 3,465,997 |
| セグメント利益 | 99,212 | 92,881 | 192,094 | △15,169 | 176,924 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△15,169千円には、のれん償却額△15,238千円、及びその他調整額68千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,243,046 | 1,361,312 | 4,604,358 | — | 4,604,358 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 67,012 | 151,683 | 218,696 | △218,696 | — |
| 計 | 3,310,058 | 1,512,995 | 4,823,054 | △218,696 | 4,604,358 |
| セグメント利益 | 155,099 | 97,409 | 252,509 | △16,573 | 235,935 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,573千円には、のれん償却額△16,601千円、及びその他調整額28千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。